

これからの地方の使命を考えるフォーラムの設立について

1 設立趣意

山形県は、蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日と日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、南から連なる米沢、山形、新庄の各盆地と庄内平野を「母なる川」、最上川が流れる、美しい自然に恵まれた地域である。そして、それらの環境を活かし、共存しながら、第一次産業をはじめとする多様なものづくりが生まれ、豊かな地域社会を形成してきた。

一方で、山形県をはじめ、東北地方は、明治維新からこれまで、一貫して苦難の歴史をたどってきたと言っても過言ではない。明治維新においては、最後まで幕府を守る立場で戦い、奥羽越列藩同盟を結成するなど、結束を強めたが、新政府軍の前に力尽き、賊軍の汚名を着せられた。

戦後は日本の復興・発展のために、多くの若者が集団就職という形で上京し、高度経済成長期をはじめ、今に至るまで我が国の発展を支えてきた。その影響もあり、東北からは若者の人口流出が早い段階から進み、今日の過疎化と高齢化に拍車をかける結果につながっている。

日本全体が人口減少局面に突入した今、問題はより深刻化している。

長く続いた中央集権政治は、一時期は地方にも大きな恩恵をもたらした。田中角栄氏の「列島改造論」は、地方にもインフラ整備を充実させ、国土の均衡ある発展を目指したものである。

しかし、平成に入り、バブルの崩壊とともに、容赦のない構造改革の波が押し寄せてきた。

小泉政権の「三位一体の改革」により、地方交付税が大きく削られ、自主財源の乏しい地方の行財政運営は厳しさを強いられるようになった。そして、自由化の進展や、規制緩和・構造改革のかけ声の下、農林水産業は安い海外からの農産物との競争に苦しみ、担い手不足に悩まされているほか、大手資本の参入により、街の商店も苦境に立たされている。

「地方分権」が叫ばれて久しい。国と地方は、決して「上下の関係」ではなく、本来対等なはずである。しかし、未だに中央によるトップダウンの政治が続けられているのが現状である。一刻も早く、お上が決める画一的な地域政策ではなく、それぞれの地域の実情に合わせた柔軟性のある「ボトムアップ型」の政治に転換する必要があり、そのことにより、持続可能な地域社会の構築へとつながると確信する。

そのような中、保守対革新、右対左といった漠然とした空気の中で、地域の声を伝えるべき議員は、中央による政治の党利党略に巻き込まれ、地域の真の代弁者となり得ていないのではないか。また、各政党の目指す方向と、地方が望む方向は果たして一致しているのだろうか。

だからこそ、党派の枠を超えて大同団結し、この地に生きる個々人として地域のために結束する必要がある。

このような危機感を共有する多くの同志が集える受け皿として、ここに、「これからの地方の使命を考える会」を設立する。鳥のつばさのように暖かく広く包み込む組織を目指して。また、山形を縦貫する新幹線つばさのようにそれぞれをつなぐ架け橋を目指して。

山形県、県内市町村の発展のため、県民中心の緩やかな行動体、草の根民主主義を体現する組織を結成し、時に政策集団として政策を考え、磨き上げ、それぞれの立場で提案するとともに、政策実現のために行動していくこととし、この趣旨に賛同する多くの方々の参加を求める。

【目指すべき理念】

目先の利益ではない、中長期的視点に立った持続可能な社会に向け、

行き過ぎた新自由主義から脱却し、再分配を重視し、地域を大事にする社会、「山の向こうのもう一つの日本」の構築を目指す

- ・ 農商工一体の循環型社会の構築
- ・ 地域に根差す中小企業を重視する政策の実現
- ・ 産業政策と地域政策のバランスのとれた農林水産施策の構築
- ・ 多様性を重視した寛容な社会
- ・ 地域と都市など様々な格差の是正と貧困への取組
- ・ エネルギー自給の推進による雇用と産業の創出
- ・ 地域資源の発掘と活用

2 入会対象者

設立趣意に賛同していただける県民の皆様（学識経験者、文化人、シンクタンク、NPO・NGO等の団体等の皆様を含む）

自治体議員等政治にかかわっている方、その出身者及び志のある方

3 今後の活動と入会

問題意識の共有や情報交換のための定期的な会合、勉強会、講演会、シンポジウム等の開催。

なお、ご入会ご希望の方は、別添の入会仮登録書にご記入の上お知らせください。

4 会費

年会費 個人 5,000 円、団体 10,000 円（会合等における資料代等は別途）

事務局(入会等のご案内、お問い合わせ)

参議院議員舟山やすえ事務所 山形事務所

TEL 023-627-2780

FAX 023-674-0278

Mail office@y-funayama.jp

【これからの地方の使命を考えるフォーラム 入会仮登録書】

会に入会をご希望の方はご記入の上、下記ファックス又はメールにてお知らせください。また、興味をもたれる方がおられましたら、ご紹介賜れば幸いです。
なお、会費の納入をもって入会となります。

ふりがな			生 年 月 日
お 名 前	姓	名	M T S H 年 月 日
連絡先 ご 住 所	〒 -		
電話番号 (携帯)	(- -)		
FAX 番号	- -		
メールアドレス			
ご 職 業			
ご所属 (団体)			

事務局 (参議院議員舟山やすえ山形事務所)

FAX 023 - 674 - 0278

(TEL 023 - 627 - 2780)

E-mail office@y-funayama.jp